

■ 映文連アワード2026 表彰式・上映会【会場：国立新美術館 講堂】

11月30日(月) 13:30～16:30 終了予定

※会場には、ご招待者のみ入場可能です。

※日経チャンネル(<https://channel.nikkei.co.jp>)で生配信されますので、是非ご覧ください。

■ 映文連アワード2026 表彰式	■ 映文連アワード2026 受賞作品上映会
13:30 主催者挨拶 表彰式 来賓挨拶	16:00 受賞作品一部紹介
15:30 終了予定	16:30 終了予定

■ International Corporate Film Showing 2026【会場：国立映画アーカイブ 小ホール(地下1階)】



12月3日(木) 18:30～20:30

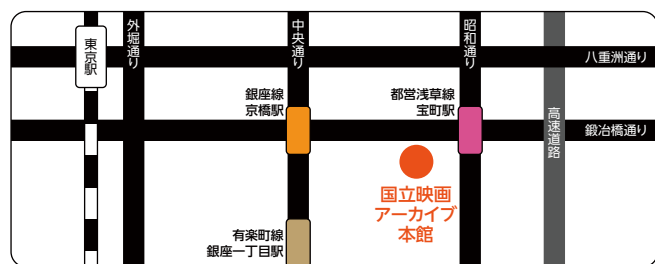
世界企業映像フェスティバルの今年度受賞作品及び優秀作品を上映。
映文連ホームページトップ [ICFS]に、上映作品一覧がございます。
(10月下旬更新予定)

■ 受賞作品上映会スケジュール【会場：国立映画アーカイブ 小ホール(地下1階)】

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
12月1日(火)		Aプログラム 日本の文化と社会を考える (4作品)		Bプログラム 人生をどう生きるか (2作品)		Cプログラム 知られざる記録映像 (3作品)		Dプログラム 戦争の時代を見つめる (2作品)		Eプログラム 生成AIを使って (2作品)		
12月2日(水)		Fプログラム 企業ブランディング映像のいま (10作品)		Gプログラム 無限の可能性を秘めて (3作品)				Hプログラム まだ見ぬ、何かを (7作品)		I トークセッション		
12月3日(木)										International Corporate Film Showing 2026		

※ゲストおよび内容は、変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

■ 国立映画アーカイブ 会場案内



国立映画アーカイブ 東京都中央区京橋 3-7-6

東京メトロ銀座線京橋駅出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

＜注意事項＞※必ずお読みください
●発熱など体調のすぐれない方は、参加をご遠慮くださいますようお願いいたします。
●当日券の販売は、地下1階の小ホール前でを行います。
●混雑時には入場制限を行います。
●原則として飲食は禁止です。
●ただし、蓋が完全に閉まる飲み物は持ち込み可能です。
●当イベントの内容やチケットに関して国立映画アーカイブへのお問い合わせはご遠慮ください。

■ チケット情報

券種	前売券	Pコード	当日券
プログラム券	¥800 (学生¥500)	468-476	¥1,000 (学生¥500)
1日券	¥2,000	468-477	¥2,400
ICFS券	¥2,500	556-834	¥3,000
共通鑑賞券	¥5,000	468-478	

前売券購入方法

チケットぴあ(上映会前日11/30(月)まで発売) <https://t.pia.jp>

映像文化製作者連盟(11/24(火)まで発売)

☐ E-mail予約 info@eibunren.or.jp

☐ 直接購入 映文連事務局(東京都中央区日本橋小網町17-18 藤和日本橋小網町ビル7F)

※ 当日券は上映会場にて、開場時間より販売します。 ※ 自由席／定員・入替制

※ 共通鑑賞券はA～HプログラムとICFSがご鑑賞になれます。

後援：文部科学省 経済産業省 東京都 映像産業振興機構 全国地域映像団体協議会 日本映画テレビ技術協会 日本アド・コンテンツ制作協会
日本ポストプロダクション協会 日本映画撮影監督協会 日本映画テレビ照明協会 デジタルコンテンツ協会 毎日新聞社
日本経済新聞社 朝日新聞社 読売新聞東京本社 映像新聞社 ユニ通信社 (順不同)

特別協力：国立映画アーカイブ

助成：芸術文化振興基金 一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS)



「映文連アワード2026」は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS) の共通目的基金の助成を受け実施されています。

【お問合せ先】

公益社団法人 映像文化製作者連盟

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 17-18

TEL : 03-3662-0236 FAX: 03-3662-0238

URL : <https://www.eibunren.or.jp>

映文連アワード2026

JAAP INTERNATIONAL SHORT FILM FESTIVAL

第39回東京国際映画祭提携企画

表彰式 2026年11月30日(月) 国立新美術館 講堂

上映会 2026年12月1日(火)・2日(水) 国立映画アーカイブ 小ホール (地下1階)

主催 公益社団法人映像文化製作者連盟



A

日本の文化と社会を考える

(約2時間35分)

12/1 (火)

10:00 優秀企画賞



「浮世絵現代」UKIYO-E IN PLAY展示映像 (58分17秒)

“UKIYO-E IN PLAY” exhibition movie

現代のアーティストが描く作品を彫師、摺師の精巧な技術で版画にするという一大プロジェクト「浮世絵現代」展の展示映像。アーティストインタビューを中心に構成。

製作：(株) エネット

クライアント：アダチ版画研究所／アダチ伝統木版画技術保存財団

11:00 企画特別賞



明日への扉「漆掻き職人」―日本の美の守り人― (26分49分)

ASUHENO TOBIRA 「The Urushi Tappers」 ―Guardians of Traditional Japanese Beauty―

「明日への扉」は、2009年から放送されているドキュメンタリー番組。本作は、5年前に東京から岩手県二戸市に移住した漆掻き職人の、今まで誰もやってこなかった挑戦に密着。

製作：(株) 日企／(株) アガサ

クライアント：アットホームホールディングス(株)

11:28 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】



見上げれば (34分27秒)

When I Look Up

「ひきこもり」を題材にした作品です。大学入学後にひきこもようになった主人公・隼人は、中学生時代の同級生・樹とゲームを通じて交流し、少しずつ心を回復させていくが……

製作：東映(株)

クライアント：兵庫県／(公財)兵庫県無人権啓発協会

12:04 優秀企画賞



一飲酒運転一なぜ、あの時… 踏めなかった心のブレーキ (29分22秒)

-Drunk Driving- Why at That Moment...? The Brake in My Heart I Couldn't Apply

飲酒運転による死亡事故を起こした本人と周囲の者、そして被害者とその家族が陥る悲劇。これくらいなら大丈夫と安易に思いこむことがもたらす酷末を描き、警鐘を鳴らす。

製作：東映(株)

B

人生をどう生きるか

(約2時間1分)

12/1 (火)

12:50 文部科学大臣賞



廻暦で歩む医師の道 ～古希まで10年の軌跡～ (60分)

Walking a Doctor's Path at 60: A 10-Year Journey to 70

水野隆史医師は、官僚として働きながら55歳で医学部に合格、60歳で医師免許を取得した。さまざまな「年齢の壁」が立ちはだかりながらも奮闘する70歳までの10年を描く。

製作：青森朝日放送(株)

13:51 優秀作品賞 (準グランプリ)



ETV特集 それ、仏教かも。謎の寺・貫権寺の実験 (59分)

Could This Be Buddhism? – The Experiment at a Kyoto Temple –

京都に型破りな寺がある。実験寺院・貫権寺。葬式や法要は行わず、檀家も取らず、運営費はお布施のみ。だが連日、“仏教哲学”による対話「問答」を求めて多くの人が集う。

製作：テレコムスタッフ(株)

クライアント：NHK

C

知られざる記録映像

(約1時間31分)

12/1 (火)

15:05 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】



擬態の不思議 したたかな虫たちの生態 (21分46秒)

Mystery of mimicry – ecology of amazing insects –

生き物達が様々な擬態をするのは、自分が棲む環境の中で他の生き物達との関係にうまく適応して生き残り、子孫を残すため。身近な里山の生き物達の興味深い擬態を追った。

製作：麓波由城雄／藤崎憲治

15:28 優秀企画賞



空に描く未来 千歳空港開港100年記念動画 (28分22秒)

SHAPING THE FUTURE IN THE SKY

2026年の空港開港100年に合わせ、100年前の先人たちが夢を託した一本の着陸場が、現在の航空自衛隊千歳基地や新千歳空港へと変貌を遂げ発展してきたことを伝える。

製作：TOPPAN(株)／札幌テレビ放送(株)／filmmaker qumachang

クライアント：千歳市

15:58 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】



“豊後土工”のDNA日本を支えた出稼ぎトンネル坑夫集団 (36分14秒)

The DNA of the “Bungo Dokko”: The Migrant Tunnel Miners Who Built Modern Japan

世紀の難工事、黒部ダムは「豊後土工」という知られざる出稼ぎ集団の存在なくして成り得なかった。このトンネル坑夫達が日本の戦後復興・高度経済成長を支えた事実に向える。

製作：スモールフィルム(株)

クライアント：青建設(株)

D

戦争の時代を見つめる

(約1時間48分)

12/1 (火)

16:50 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】



音楽はかつて“軍需品”だった 幻の楽譜に描かれた戦争 (59分)

Music as a Weapon of War: The Untold Story of a Lost Score

NHKの倉庫に眠っていた253名の戦時楽曲の楽譜や残された放送記録を紹介し、戦争の時代、音楽がどのように使われていたのか、音楽家たちはどう生きたのか、を探っていく。

製作：日本放送協会

17:50 優秀企画賞



ほっとネットとうほく 日記の中の父〜餓死の島 2年の記録〜 (47分)

Hot Net Tohoku My Father's Diary: Two Years on an Island of Hunger and Death

マーシャル諸島で父が綴った日記。宮城県の佐藤さんは、2歳で生き別れた父の日記を手掛かりに、その人生を辿る。戦後80年、遺骨の戻らぬ父を思い息子是最期の地へ向かう。

製作：(株) 東日本放送

E

生成AIを使って

(約1時間14分)

12/1 (火)

18:55 優秀企画賞



生成AIで蘇る関西電力初代社長 太田垣士郎 伝 (7分27秒)

Shiro Otagaki: Revived by Generative AI – The Legacy of Kansai Electric's First President

関西電力の創業ストーリーを追体験し、挑戦のDNAを未来へつなぐAI映像作品。史料のリアルな復元にこだわり、AIで再現した初代社長から現代の社員へメッセージを届けた。

製作：(株) JADK マーケティング・ソリューションズ／(株) JADK クリエイティブ・ワン/ピラミッドフィルムグループ

クライアント：関西電力(株)

19:04 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】



TOKYO STORIES 東京クリエイターの視点 (63分23秒)

TOKYO STORIES～The Perspective of Tokyo Creators～

AIのクリエイションが溢れる世界に、TOKYOの視点をお届けします。東京に豊く様々な才能が、生成AIを使って新しいショートムービーを創ります。AIのクリエイティブに新しい風が吹くことを目指して。

製作：(株) JTYO

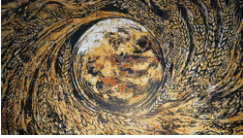
F

企業ブランディング映像のいま

(約2時間37分)

12/2 (水)

10:00 優秀作品賞 (準グランプリ)



サントリー ザ・プレミアム・モルツ マスターズドリーム 麦の個性篇 (2分50秒)

Suntory The PREMIUM MALT'S MASTER'S DREAM 「THE BARLEY MOSAIC」

665枚の版木と288時間に及ぶコマ撮り。AI時代に手作業を費く制作工程そのものが、「なぜ、そこまでやるのか。」というコビーを体現している。

製作：(株) JKEY pro

クライアント：サントリーホールディングス(株)

代理店：(株) 電通／(株) 電通アドギア／TeTo

10:04 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】



秋田を夏いちごの産地に「秋田夏醬」プロジェクト (11分40秒)

Making Akiita the Home of Summer Strawberries: The “Akiita Natsuhikiki” Project

秋田を夏いちごの新たな産地へ。地域課題に向き合いながら、ブランド「秋田夏醬」の産地形成をめざし、仲間とともに持続可能な地域づくりに挑む姿を描く。

製作：NTT 東日本(株)／(株) NNTe-Sports／(株) タグポート／(株) ハッチ

10:17 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】



ROW OUT SPIRIT NTT東日本漕艇部「全日本選手権エイト奪還の記録」 (17分46秒)

Reclaiming the Crown The Story of the NTT EAST Rowing Team

8人で漕ぐエイトは、最速を誇るボート競技の花形。社会人として働きながら夢を追う選手たち。勝敗に泣き、衝突に悩み、それでも再びオールを握る彼らのドキュメンタリー。

製作：NTT 東日本(株)／(株) Xero

10:36 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】



ShowとWillの冒険 (5分)

The Adventures of Show and Will

ダンボールキャラクターがはぐれた相棒を探す旅の中で、自らの存在が様々な新技術と共に陸・海・空の環境を守る様子を目にする。ダンボールの持つ持続可能性を伝える物語。

製作：(株) ロボット

クライアント：レンゴー(株)

10:42 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】



cap&bear (2分)

cap&bear

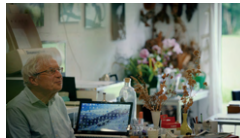
歩行中の交通事故死傷者数が最も多い年齢は高齢者ではなく7歳。視覚的にドライバーに気づかれやすい格好をすることの大切さに、自然と視聴者が気づいてくれるような表現を目指した。

製作：(株) JPOPS／(株) キーワビクチュアス

クライアント：岡山ヨベット(株)

代理店：(株) 第一エージェンシー

10:45 優秀企画賞



Floriography 2026 Calendar (2分27秒)

Floriography 2026 Calendar

オランダのアーティスト、アリー・ファン・トリート氏のパナソニックホームズのカレンダー用新作制作風景。花々や生物の有機的な美しさの本質を、X線を使って捉える。

製作：(株) JDNP コミュニケーションデザイン／(株) TREE Digital Studio

クライアント：パナソニック ホームズ(株)

代理店：大日本印刷(株)

10:49 優秀企画賞



会社を守る!南海トラフ地震と中小企業の備え (13分40秒)

Beyond the Quake -Preparing for the Nankai Trough Earthquake

発生が懸念される南海トラフ地震に備え、専門家の科学的解説と被災企業の証言を通じて、中小企業に求められるBCPと防災対策の重要性を伝える。

製作：(株) DNP コミュニケーションデザイン／(株) TREE Digital Studio

クライアント：大同生命保険(株)

代理店：大日本印刷(株)

11:04 優秀企画賞



きえゆくモノ まもりぬくモノ 移りゆく歴史の中で未来に残すべき、守り抜くべきものとは (14分13秒)

WHAT FADES, WHAT WE PRESERVE Amid the changing tides of history, what must we preserve for the future?

約80年にわたり学校家具をつくり続けてきた西尾家具工業社。その環境への取り組みを通して、環境問題を社会の課題ではなく、私たち一人ひとりの問題として見つめ直す。

製作：(株) クリエイティブアイズ

クライアント：(株) 西尾家具工業社

11:20 優秀企画賞



【クイズ】掘りだせカルビー＃1 QuizKnockも衝撃!ポテトチップスは畑づくりから (20分09秒)

QUIZ! DIG UP Calbee #1 Even QuizKnock is Shocked! Potato Chips Start in the Field

普段何気なく食べているカルビーのポテトチップスが、いかに量・質ともにこだわって作られているのか、QuizKnockが、商品にまつわる裏側をクイズを交えながら掘り出していく。

製作：(株) JKEY pro／(株) UNITED PRODUCTIONS

クライアント：カルビー(株)

代理店：(株) 電通

11:42 経済産業大臣賞



KOBELCO120 周年記念アニメーション「あしたのありか」 (53分37秒)

KOBELCO 120TH ANNIVERSARY ANIMATION “Ashita no Arika” - Whereabouts of Tomorrow

神戸製鋼所創立120周年を記念して制作。過去から現在へ受け継がれる企業の苦難と挑戦の歴史を、本格長編アニメーションで表現した新しいブランドコミュニケーション映像。

製作：(株) クオラス／コベルコビジネスパートナーズ(株)

クライアント：(株) 神戸製鋼所

G

無限の可能性を秘めて

(約2時間24分)

12/2 (水)

12:50 最優秀作品賞 (グランプリ)



Return to My Blue (39分)

Return to My Blue

人工呼吸器をつけた10歳の少年が、沖縄の無人島への冒険ツアーに挑む短編ドキュメンタリー。「無人島に行きたい」というまっすぐな想いが医師の心を動かし、旅が実現する。

製作：野口雄大／中塚孝樹

13:30 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】



チャオ!森の家のおくりもの (59分)

Ciao! A Gift from the Forest House

北イタリア・ポローニャ郊外の森で、築200年の石造りの家に暮らすワイヤーアーティストのチズさん。豊かな自然の中で育まれる家族の形とは?人の娘たちと織りなす物語。

製作：(株) エネット/日本放送協会／(株) NHK エデュケーションal

14:30 優秀企画賞



ちくわっチャ! (42分57秒)

CHIKUWACCHA!

夢を追うことへの葛藤がある兄と、こだわりの強い弟。2人が下関の叔母のもとで夏休みを過ごす中、名産品「ちくわ」を通じて自身の可能性に気づき、一歩を踏み出す物語。

製作：(株) LJP

H

まだ見ぬ、何かを

(途中休憩含め約3時間18分)

12/2 (水)

15:25 優秀作品賞 (準グランプリ)



そしてナイフを手にした (12分16秒)

So He Grabbed the Knife

没入的な一人称視点で暴力を通して無意識に「大人になる」感覚を描いている。少年は、かつて父親にもらったナイフを手に取る。その後の行動は、彼を「男」にしたのか。

製作：クワ ウケン(東京藝術大学大学院)

15:39 部門優秀賞【パーソナル・コミュニケーション部門】



ヨミノヒカリ (30分12秒)

Passed Light

アパートに暮らす風太は 亡き恋人・綾芽の遺品整理をしていた。そこで見つけたのは彼女が回していたシングル8カメラだった。8ミリフィルムが紡ぎだす哀愁と幻想、そして新たな再生の物語。

製作：須藤 彰

16:11 部門優秀賞【パーソナル・コミュニケーション部門】



そこまで一緒に。 (35分)

Together up there

かつて新婚旅行で訪れた山に登ろうとする夫婦。夫はある秘密を抱えて山頂を目指していた。

製作：関 寛之

16:47 部門優秀賞【パーソナル・コミュニケーション部門】



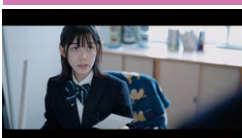
喪に服さない (11分38秒)

Not in Mourning

フリーの役者である田中美咲は、SNSでコンタクトをとってきた平田郁江から、とある依頼を受ける……。

製作：室田 晋

17:10 部門優秀賞【パーソナル・コミュニケーション部門】



大明高校退部代行部部長ハツ寺麗華 (48分2秒)

Taimel High School Resignation Department Manager Reika Yatsudera

大明高校の「退部代行部」は、幽霊部員撲滅を掲げ、退部を言い出せない生徒を支援する異色の部活だ。部活動の光と影を描く、再生と成長の物語。

製作：大久保保人(聖徳学園中学・高等学校)

18:00 優秀クリエイター賞



新しいおうちにチュ! (10分40秒)

Mwah to My New House!

人はなぜ家で猫と暮らすのか。変わりゆく身近な環境変化への戸惑いや、猫と共に家に住む期待と不安を、子どもと大人の二つの視点から探り、見つめ直したアニメーション。

製作：幸 洋子／Au Praxinoscope

18:12 東京都知事賞



On the Side Street (29分42秒)

On the Side Street

覚醒剤取締法違反で服役の過去を持つ真田は、社会復帰を目指して工場で働きだす。そこで出会った、生きることと不器用な千穂、過去の傷を抱える工場長の佳代子の三人模様。

製作：山科 晃一

T

18:55～20:00 (無料 65分)

映文連アワード20周年特別トークセッション

「映文連アワード」は、若手監督の登竜門?!

Talk Session

[出演予定]

磯部鉄平 (映画監督) / 野口雄大 (映画監督) / 山科晃一 (映画監督) 等

モデレーター：永田夢 (映画監督)

I

12/3 (木) 18:30～20:30

International Corporate Film Showing 2026